

⑦ 学校飼育動物

■鳥居正夫

1 学校飼育動物に関する現状

学校飼育動物は、体験的な活動や問題解決的な学習の中で、教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間の目標や内容に基づき、調べ活動、絵画・制作活動、飼育活動、動物の広報活動などの学習に深いかかわりをもって

いる。また、休み時間や放課後における動物とのふれあい活動や飼育活動なども、学校の創意工夫によって幅広く行っている。

① 飼育動物の位置付け

学校における動物の飼育は、小学校の第一学年・第二学年の生活科、第三学年以上の理科(生物分野)の学習内容の一つとして位置付けられている。また、学級の係り活動や委員会活動などの特別活動としても位置付けられている。子どもたちが、飼育動物に主体的にかかわり、継続的に飼育することによって、動物に関心をもち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、人と動物のかかわり方について、様々な角度から飼育動物に働きかけている。現行の学習指導要領では、生活科(第一学年)及び理科(第三学年)の内容を次のように述べている。

【第一学年】 生活科の内容

動物を飼ったり植物を育てたりして、それらも自分たちと同じように生命をもっていることに気付き、生き物への親しみをもちそれらを大切にすることができるようになる。(第二学年は省略)

【第二学年】 理科の内容

人の体を観察したり他の動物と比べてりして、人の体のつくりを調べることができるようにする。(第四学年～第六学年は省略)

平成十四年度実施の学習指導要領では、現行の指導要領と同じく生活科や理科、特別活動に位置付けられている。生活科については、新たに、「地域の獣医師と連携」及び動物に対する児童の「アレルギーや感染症」への対応も述べられている。

② 飼育動物とのかかわりにおける教育的効果

飼育動物と直接かかわることにより、動物の成長や変化の様子、自分たちと同じように成長していることについて理解を図るとともに、動物の誕生や死に出会うことにより、

動物の生命について学ぶことができる。学校飼育動物と子どもとのかかわりは、「心の教育」という視点から学校教育の中で重要な役割を担っている。生活科や理科などの教科や、道徳・特別活動の活動としてだけでなく、様々な教育活動において、子どもの「生き方」に寄与していると考えられる。

③ 市内の小中学校で飼育されている動物の種類や総数

平成十二年六月に横浜市内の全小中学校を対象に、教育委員会が実施した調査では、動物の総数は三千三百九十八羽(頭)であった。主なものは、ウサギ千七百九十六羽、ニワトリ九百六十三羽、インコ三百一十一羽であった。(表-1)

④ 飼育動物の世話

学級活動として飼育係や委員会活動として飼育委員会などを設けて、学級担任や担当教諭を中心に世話をしている。飼育する中で対応に困ったこととしては、「ウサギが穴を掘り崩して、埋まりそうになった」「ウサギのけんかがひどい」「飼育担当者の負担が大き」などがある。(表-2)

表-1 市内の小中学校で飼育されている動物の種類や総数 (平成12年6月調査 教育委員会事務局指導第一課)

総数	ウサギ	ニワトリ	モルモット	ハムスター	ヤギ	アヒル	ウズラ	インコ	その他
3,398	1,796	963	23	2	4	35	25	311	239

表-2 飼育する中で困っていること (平成12年6月調査 教育委員会事務局指導第一課)

世話の仕方	ふえすぎ	病気等の対応	飼育舎位置	飼育舎面積	えさの調達	地域への影響	飼育当番	
件数	8	41	148	66	59	41	18	204

1 学校飼育動物に関する現状
2 獣医師会との連携

2 獣医師会との連携

学校が抱えている課題に対応するため、学校飼育動物の飼育の意義や管理、適正な環境づくり、病気やけがの対応、治療、相談などについて連携を図っている。

① 講演会の開催

学校飼育動物も病気やけがをすることがしばしばあり、飼育担当者が悩みをかかえることがある。このような中で、学校の飼育指導を担当する教諭を対象として、横浜市獣医師会による講演会を行い、学校飼育動物の意義や管理、適正な環境づくりなどのアドバイスを受けている。

【平成十二年度 学校飼育動物にかかわる講演会】
日時 平成十三年一月十六日（火）

午後三時～五時

場所 関内ホール（地下ホール）

講師 横浜市獣医師会 井本史夫先生

（井本動物病院長）

ヒトと動物の関係学会事務局長

内容 学校飼育動物の育て方と病気の対応

② 指導冊子の作成

横浜市獣医師会の協力を得て、児童が動物の習性に適した世話をすることができるような学校飼育動物の指導冊子を作成するなどの連携に努めている。

・冊子名 うさぎとにわとり

一九九六年一月初版発行 一九九

八年八月初版二刷発行

主な内容 からだのつくりやしきみ、くら

し、飼育の仕方や注意点、食べ物

や抱き方等

・冊子名 セキセイインコとウズラとアヒル

二〇〇〇年三月発行

主な内容 からだのつくりやしきみ、えさ、

飼い方、注意点等

③ 雄ウサギの去勢手術

平成八年度より学校飼育動物の中で、特に雄ウサギの増えすぎが問題となっており、その解決に向けて、従来の学校間での譲渡に加え、横浜市獣医師会との連携により、雄ウサギの去勢手術を実施している。今年度の去勢手術の希望校は十二月現在五十九校、去勢実施数は百六羽である。平成九年度、十年度、十一年度の去勢実施数は表-3のとおりである。

△教育委員会事務局学校教育指導第一課指導主事▽

表-3 雄ウサギ去勢実施数

平成9年度	170羽
平成10年度	120羽
平成11年度	100羽